


指導プラン 7日目



ら、り、る、れ、
ろ、わ、を、ん

| 学習する内容 | | 日本語表現・語彙・文字表記 |
|---|--|---|
| ○サバイバル表現1日目から6日目までの復習 ○診断テスト ○1～10までの数、0（いくつといくつ） ○な行は行ま行や行の復習 ○ら行わをん | | ○平仮名（ら、り、る、れ、ろ、わ、を、ん） |
| 流れ | 活動（発問・文型・語彙等） | 準備物等 |
| 1 挨拶 | おはようございます。 （その子どもの母国語でも挨拶をする。） | |
| 2 「きて／みて／きいて」の復習 | きて／みて／きいての復習をさせる。 | |
| | | |
| 3 家庭学習の答え合わせ | 家庭学習の答え合わせをする。「な行は行ま行や行の平仮名なぞり書きシート」を見ながら、一つずつ知らせる。指書きさせて、正しく書けていれば、○をつける。 | |
| 4 サバイバル表現1日目から6日目までの復習 | サバイバル表現1日目から6日目までの復習をさせる。 (1) 自己紹介、(2) いい／だめ、(3) おいしい／おいしくない、(4) すき／すきじゃない、(5) えんぴつ／けしごむ、(6) ある／ない、(7) これ、何？、(8) おなじ／ちがう、(9) ぼく／わたし、(10) きて／みて／きいて | 『日本語学級1初期必修の語彙と文字』（凡人社）の該当箇所を参照する。 |
| | | |
| 5 診断テスト | 『日本語学級1初期必修の語彙と文字』付録の第1～10課のテストを行う。全て口頭で答えさせる。 ※3の数字は、学習したことだけを尋ねる。 | 『日本語学級1初期必修の語彙と文字』（凡人社）【付録のテスト】 |
| 6 1～10までの数、0（いくつといくつ） | (1) 1～10までの数、0の復習をさせる。 (2) 小学校第1学年の算数の教科書を使う。 (3) ボールやブロック等具体的なものを使い、「5は、3と2」に分けられることを教える。 (4) 同じように具体的なものを使い、「5は、1と？」と聞く。 (5) 教科書の問題や教科書準拠のドリルを使い、練習をさせる。 (6) おはじき等を使って、数当て遊びをさせる。 | 小学校第1学年算数の教科書 教科書準拠のドリル ボール、ブロック、おはじき等 数字カード1～10 |

10～20分
単活動可

| | | |
|---|--|---|
| | <p>(7) 指導者がおはじきを両手に8個を分けて持ち、「8個、あります。」と言う。右手に3個、左手に5個持っていることを見せながら、「3個と5個。」と言う。</p> <p>(8) 同じように、右手に1個、左手に7個を見せながら、「1個と7個。」と言う。</p> <p>(9) 次は、右手に6個、左手に2個を見せながら、子どもに言わせる。</p> <p>(10) 同じ色のブロックを10個机の上に並べる。 9個と1個や、8個と2個に分けて並べる。 順番に1個と9個に分けて並べるところまで、9種類の区切り方を見せる。</p> <p>(11) 「10は、それぞれ、9と1、8と2、7と3、6と4、5と5、4と6、3と7、2と8、1と9」に分けられることを繰り返して言わせる。</p> |  |
| <p>7 平仮名の読み書き（ら行、わ、を、ん）</p> | <p>(1) ひらがなカードを見せて言う。言わせる。</p> <p>(2) 絵を見せ、その名前を言う。次に子どもに言わせる。</p> <p>(3) 繰り返す。バラバラの順番で子どもに言わせる。</p> <p>(4) カルタをする。指導者が「○」と言い、「○」を取らせる。</p> <p>(5) 指導者が指差したカードを読ませる。</p> <p>(6) 読めるようになったら、ゆびなぞりカード等を使って、子どもに、声を出させながらなぞり書きをさせる。</p> <p>(7) 鉛筆でなぞり書きをさせる。</p> <p>(8) 写し書きをさせる。</p> <p>(9) 背中文字を指導者と交互に書き合う。</p> | <p>『日本語学級1 初期必修の語彙と文字』 (凡人社) 『50音表』 『ひらがなカード』 (くもん出版) 『ゆびなぞりカード ひらがな』(くもん出版) 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』 (凡人社)【P29～36】</p> |
| <p>8 挨拶</p> | <p>T：終わりました。さようなら。 C：終わりました。さようなら。</p> | <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』 (凡人社)【P29～33】</p> |
| 家庭学習 | | 備考・連絡 |
| <p>「ら行、わ、を、ん、の平仮名のなぞり書きシート」 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』(凡人社)【P29～33】</p> | | |

指導プラン 8日目



こう？そう。
こくご、さんすう、ずこう

| 学習する内容 | | 日本語表現・語彙・文字表記 |
|---|--|--|
| ○こう／ちがう／そう ○べんきょう ○平仮名の読み書き（あ～んまでの復習） | | ○こう、違う、そう ○勉強、国語、算数、体育、音楽、図画工作（図工） ○（教科名）の勉強、（教科名）の本 |
| 流れ | 活動（発問・文型・語彙等） | 準備物等 |
| 1 挨拶 | おはようございます。 （その子どもの母国語でも挨拶をする。） | |
| 2 家庭学習の答え合わせ | 「ら行わ、を、んの平仮名なぞり書きシート」を見ながら、一つずつ言わせる。指書きさせて、正しく書けていれば、指導者が○をつける。 | |
| 3 平仮名の読み書き（ら行、わ、を、ん）の復習 | ら行、わ、を、んの復習をさせる。 | |
| | | |
| 4 ディクテーション | 「ら」と言って、子どもが「ら」と言って正しく書ければ○。同様に「り」から「ん」までディクテーション（聞き取り）を行う。 | ディクテーション用テスト用紙 |
| 5 1～10 までの数、0（いくつといくつ）の復習 | 1～10 までの数字を復習させる。 10 がいくつといくつに分かれるかを復習させる。 | 小学校第1学年算数の教科書 教科書準拠のドリルブロック、おはじき等 数字カード1～10 |
| 6 「こう／ちがう／そう」の表現 | (1) 『日本語学級1 初期必修の語彙と文字』【P32～33】の①のイラストを指差しながら、「こう？」「違う」「そう」と言い、これらの言葉の意味を教える。 (2) 同じイラストを使いながら、吹き出しに当てはまる言葉を子どもに言わせる。 (3) 慣れてきたら、アトランダムに吹き出しを指差し、当てはまる言葉を言わせる。 | 『日本語学級1 初期必修の語彙と文字』（丸人社）【P32～33】 |
| | | |
| 7 べんきょう（教科名） | (1) 国語、算数、体育、音楽、図画工作（図工）を扱う。 (2) 『にほんごをまなぼう』の【P57】のイラストや国語の教科書も指差し、「国語。」と言う。 | 『にほんごをまなぼう』国語、音楽、図画工作【P57～60】、体育【P62～ |

20~30分
単活動可

- (3) 『にほんごをまなぼう』の【P66~67】のイラストや算数の教科書も指差し、「算数。」と言う。
- (4) 『にほんごをまなぼう』の【P62、63】のイラストや体育関係の本を指差しながら（または、運動場等で、体育をしているところを指差しながら）、「体育。」と言う。
- (5) 『にほんごをまなぼう』の【P58、59】のイラストや音楽の教科書を指差しながら、または、教室のオルガンやリコーダー等の楽器を演奏しながら（音楽の授業を受けている学級を見せながら）、「音楽。」と言う。
- (6) 『にほんごをまなぼう』【P60】のイラストや図画工作の教科書も指差しながら、または、絵を描きながら（図画工作の授業を受けている学級を見せながら）、「図画工作、図工。」と言う。
- (7) 次に、『ともだちになろう』【P11】のイラストや教科書を見せながら、「何の勉強？」と聞き、子どもに教科名を答えさせる。
- ※子どもの状況に応じて、「〇〇の勉強」という答え方をさせてもよい。
- (8) 国語、算数、体育、音楽、図画工作（図工）の教科書を見せながら「〇〇の本」と言う。
例：算数の本の中身を見せながら指差し、「算数。本。算数の本。」と言う。
- (9) 次に、同じ要領でそれぞれの本について、「(教科名)。本。(教科名)の本。」と言う。
- (10) 最後に、「何の本？」と聞いて、子どもに「(教科名)の本。」とだけ言わせる。
- ※【P37】の4は、小学校では「〇〇(教科)の先生」という言い方を使うことが少ないので、扱わない。

63】、算数【P66、67】
国語、算数、音楽、図画
工作の教科書

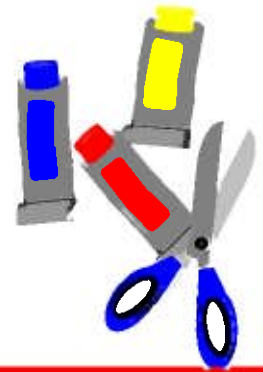
体育の授業を受けている
様子が載っているよう
な本

体育で使う道具（ドッジ
ボール、縄跳び等）

音楽で使う楽器（オルガ
ン、リコーダー、カスタ
ネット等）

図画工作で使う道具（絵
の具、はさみ、のり等）

※『ともだちになろう』
（静岡県教育委員会）
【P11】のイラストを使
うこともできる。



8 あ～んまでの
平仮名の読み書
き総復習

10~20分
単活動可

- (1) <坊主めくり>
(2) <ピング>
(3) <平仮名並べ>
トランプの7並べのように、平仮名を並べるゲームを行う。「なにぬねの」を中心とし、「な」を持っている人から始める。
『ひろこさんのたのしいにほんご』 ひらがな・かた

『日本語学級1初期必
修の語彙と文字』

（凡人社）

『50音表』

『ひらがなカード』
（くもん出版）

『おびなぞりカード』

| | | |
|---|---|--|
| | かな・かんじ れんしゅうちょう』(凡人社)【P37】のシートで練習をさせる。 | ひらがな』(くもん出版)『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』(凡人社)【P37~40】平仮名なぞり書きシート 「小さな世界」の楽譜 |
| 9 「小さな世界」の歌詞を読む | 「在籍学級の担任による学級活動②」や「在籍学級の担任による学級活動③」で、在籍学級の子どもと「小さな世界」を歌う活動が組まれているので、「小さな世界」の歌詞を読んでおく。(できれば、歌を歌う練習を入れておく。) | |
| 10 挨拶 | T: 終わりました。さようなら。 C: 終わりました。さようなら。 | |
| 家庭学習 | | 備考・連絡 |
| 「あ〜んまでの平仮名のなぞり書きシート」 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』(凡人社)【P37~40】 ※【P37~38】は、時間があれば授業中に行いたい。授業中に【P37~38】が終了している場合は、家庭学習は【P39~40】とする。(家庭学習の課題量は児童の実態に合わせる。) | | |

今日の活動・指導のヒント

- (1) 「ア ベんきょう」のところでは、実際に、授業を受けているところを見せるとよい。
 (2) <平仮名並べ>



トランプのA並べの要領で、平仮名を50音図のように並べていくアクティビティー
 ア 「なにぬねの」を中心とし、「な」を持っている人から始める。(横に伸ばしていく。)
 イ 「やいゆえよ」のいとえの所はジョーカー2枚を入れる。
 ウ 「ん」は入れない。「ら」の隣に「わ」を、「ろ」の隣に「を」を置くこととする。
 エ 「おいうえを」のいうえの部分には空欄とする。
 オ 「3回パスしたら負け」などのルールは、子どもの実態に応じて適宜決める。

| | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|---|
| わ | ら | や | ま | は | な | た | さ | か | あ |
| × | り | JOKER | み | ひ | に | ち | し | き | い |
| × | る | ゆ | む | ふ | ぬ | つ | す | く | う |
| × | れ | JOKER | め | へ | ね | て | せ | け | え |
| を | ろ | よ | も | ほ | の | と | そ | こ | お |

指導プラン 9日目



何曜日？
明日、昨日。

| 学習する内容 | | 日本語表現・語彙・文字表記 |
|--|--|--|
| ○なんようび ○きのう／きょう／あした ○平仮名の読み・書き（が行ざ行） | | ○何曜日？ 日曜日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日、月、火、水、木、金、土 ○昨日、今日、明日 ○「今日、何曜日？」「明日、何曜日？」「昨日、何曜日？」 ○が行（が・ぎ・ぐ・げ・ご） ○ざ行（ざ・じ・ず・ぜ・ぞ） |
| 流れ | 活動（発問・文型・語彙等） | 準備物等 |
| 1 挨拶 | おはようございます。 (その子どもの母国語でも挨拶をする。) | |
| 2 「こう／ちがう／そう」、「べんきょう」の復習 | 「こう／ちがう／そう」の復習をさせる。 「べんきょう」を復習をさせる。 | |
| |  | |
| 3 家庭学習の答え合わせ | (1) 家庭学習の答え合わせをする。「あ～んまでの平仮名なぞり書きシート」を見ながら、一つずつ問わせる。指書きさせて、正しく書けていれば、指導者が○をつける。 (2) 答え合わせをしながら、シートの下にある絵を使って、新たな単語を教える。「くし・たいこ・くも（雲）・むし（虫）・はな（花）」 | 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』（凡人社）【P37～40】 |
| 4 「あ～ん」までの平仮名の読み書きの復習 | 「あ～ん」までの復習をさせる。 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』（凡人社）【P38】を使い、50音図の穴埋めテストを行う。 | |
| |  | |
| 5 単語テスト | 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』（凡人社）【P12, 21, 28, 36】を使い、絵を見て、その名前を平仮名で書かせる単語テストを行う。 | 『ひろこさんのたのしいにほんご1 平仮名・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』（凡人社） |
| 6 曜日の名称 | (1) 『日本語学級1初期必修の語彙と文字』（凡人社）【P38～39】を使う。 | 『日本語学級1初期必修の語彙と文字』（凡人社） |

20~30分
単活動可

※取り出し学級で時間割を使っていない場合は、在籍学級の時間割を使う。

- (2) 指導者が、カレンダーの曜日のところを指差して、日曜日から順番に「日曜日、月曜日、火曜日、…」と言う。
- (3) これを2回繰り返した後、指導者に続いて子どもに言わせる。
- (4) 次に、曜日を省き、「日、月、火、水、木、金、土」だけを、(2)(3)と同様に練習する。
- (5) 旋律を付けて歌うようにして指導者が発音し、指導者に続いて子どもに歌わせる。
- (6) 在籍学級の時間割（平仮名表記）を見ながら行う。
- (7) 『日本語学級Ⅰ初期必修の語彙と文字』【P39】の③のイラスト①を使って、「月曜日、募款 ある？ない？」と聞く。子どもに「ある」や「ない」で答えさせる。
- (8) その他の教科を使って繰り返して練習する。
- (9) 『日本語学級Ⅰ初期必修の語彙と文字』【P39】③のイラスト②を使って、「体育、月曜日？火曜日？」と聞く。子どもに、「月曜日、水曜日、木曜日。」と体育のある日を答えさせる。
- (10) その他の教科を使って繰り返して練習する。
- (11) 『日本語学級Ⅰ初期必修の語彙と文字』【P39】③のイラスト③を使って、「ようび」と書いたものを見せ、指差しながら、「図画工作、何曜日？」と聞く。
- (12) もう一度「図画工作（図工）、何曜日？」と聞く。理解した子どもに、「ああ、火曜日。」と答えさせる。
- (13) その他の教科を使って繰り返して練習をさせる。

（凡人社）【P38～39】
月別カレンダー（月火水木金土日と表記されているもの。または、既製品に月火水木金土日と書き加え、ふりがなをふっておく。）



在籍学級の時間割表

7 「きのう／きょう／あした」の名称と意味

20~30分
単活動可

- (1) 「今日」の意味を子どもの母語で確かめる。
※『日本語学級Ⅰ初期必修の語彙と文字』には、中国語、英語、韓国語・朝鮮語、ポルトガル語、タイ語、スペイン語、フィリピン語、ロシア語で、表記がされている。
- (2) カレンダーの今日の日付を指差し、「きょう」と言う。
- (3) 同じように、明日の日付を指差し、「あした」と言う。
- (4) 同じように、昨日の日付を指差し、「きのう」と言う。
- (5) 今日を基準日として、前方を指差し明日、後方を指差し昨日という順番で「きょう・あした・きのう」と繰り返して言う。

カレンダー

『日本語学級Ⅰ初期必修の語彙と文字』
（凡人社）【P40、41】

対象子どもの母国語では、「昨日・今日・明日」

| | | |
|---------------------------------|--|---|
| | <p>(6) 『H本語学級I初期必修の語彙と文字』【P41】3の質問をして、子どもに答えさせる。</p> <p>(7) 「きょう、なんようび？」と指導者が聞く。子どもに「Oようび。」と答えさせる。 ※子どもの状況によっては、「きょうは、Oようび です。」と答えさせてもよい。</p> <p>(8) 「あした、なんようび？」と指導者が聞く。 子どもに「Oようび」と答えさせる。 ※子どもの状況によっては、「あしたは、Oようび です。」と答えさせてもよい。</p> <p>(9) 「きのう、なんようび？」と指導者が聞く。子どもに「Oようび。」と答えさせる。 ※子どもの状況によっては、「きのうは、Oようび でした。」と答えさせてもよい。</p> <p>(10) 在籍学級の時間制を使って、指差しながら、「あした、たいいく、ある？ない？」と聞き、子どもに答えさせる。</p> <p>(11) 同じように「あした、おんがく、ある？ない？」と指導者が聞く。子どもに答えさせる。</p> <p>(12) 絵本『はらぺこあおむし』の絵を見せながら、読み聞かせをする。1週間の曜日が使われている場面があるので、ここで扱う。</p> | <p>をどのように表記しているか、調べておく。</p> <p>※『ともだちになろう』（静岡市教育委員会）【P26】を使うこともできる。</p> <p>在籍学級の時間制</p> <p>絵本『はらぺこあおむし』著：エリック・カール訳：もりひさし（借成社）</p> |
| <p>8 平仮名の読み書き（が行、ざ行）</p> | <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』【P41～45】を使用する。</p> <p>(1) 「が」のカードを用意し、濁点を隠しながら、指導者が「が」と言う。</p> <p>(2) 次に、濁点を見せて、指導者が「が」と言う。</p> <p>(3) 「か」の状態では「か」、濁点を付けた状態の「が」を見せて「が」と言うことを繰り返す。</p> <p>(4) 次に、後に続いて、子どもに繰り返して言わせる。</p> <p>(5) 慣れてきたら、「か」と「が」を交互に見せるだけで言わせる。</p> <p>(6) 同様に、が行とざ行の練習を行う。</p> <p>(7) 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』の【P42～45】に書いて練習させる。時間内で終わらないところは、家庭学習とする。</p> | <p>「50音表」</p> <p>『ひらがなカード』（くもん出版）</p> <p>『ゆひなぞりカード ひらがな』（くもん出版）</p> <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』（丸人社）【P41～45】</p> <p>平仮名なぞり書きシート</p> |

| | | |
|---|--------------------------------------|-------|
| 9 挨拶 | T: 終わりました。さようなら。 C: 終わりました。さようなら。 | |
| 家庭学習 | | 備考・連絡 |
| が行とざ行の平仮名のなぞり書きシート (『ひろこさんのたのしいほんご1 ひらがな・カタカナ・かんじ れんしゅう うちょう』(丸入社)【P42~45】) | | |

今日の活動・指導のヒント



- (1) 「8 が行、ざ行の平仮名を覚える」のところでは、以下のようなカードを使う。
 「か」のカードを見せて、「か」と言う。「濁点」を持ってきて、「か」の右上に付けて、「が」と言う。



指導プラン 10日目



わかる。
わからない。

| 学習する内容 | | 日本語表現・語彙・文字表記 |
|--|---|--|
| ○わかる／わからない ○平仮名の読み・書き（だ行ば行ば行） | | ○分かる／分からない ○だ行（だ・ぢ・づ・で・ど） ○ば行（ば・び・ぶ・べ・ぼ） ○ぱ行（ぱ・ぴ・ぷ・ぺ・ぽ） |
| 流れ | 活動（発問・文型・語彙等） | 準備物等 |
| 1 挨拶 | おはようございます。 （その子どもの母国語でも挨拶をする。） | |
| 2 曜日の名称を復習「きのう／きょう／あした」の名称と意味の復習  | 「なんようび」の復習をさせる。 「きのう／きょう／あした」の復習をさせる。 (1) 指導者が「きょうは、なんようびですか？」と聞き、子どもに「きょうは、○ようびです。」と答えさせる。 (2) 指導者が「あしたは、なんようびですか？」と聞き、子どもに「あしたは、○ようびです。」と答えさせる。 (3) 指導者が「きのうは、なんようびでしたか？」と聞き、子どもに「きのうは、○ようびでした。」と答えさせる。 ※この練習は、第10日目以降、毎日、使って練習することができる。 | |
| 3 家庭学習の答え合わせ | 家庭学習「が行ざ行の平仮名なぞり書きシート」を見ながら、指書きさせながら一つずつ言わせる。できていれば、宿題のシートに○をつける。 | 『ひろこさんのたのしいにほんご』 ひらがな・かたかな・かんじれんしゅうちょう』 （月人社）【P42～45】 |
| 4 平仮名の読み書き（か行ざ行）の復習  | 「が行ざ行」の復習をさせる。 (1) か行とさ行の平仮名カードを読ませ、その平仮名カードに「」をつけたものを読ませる。交互に読ませ、「が～ぞ」までの復習をする。 (2) が行とさ行の平仮名を書かせ、か行とさ行を入れて20枚にし、坊主めくりを行う。 (3) が行ざ行全てと残りか行さ行の6枚を選ばせ、16マスビンゴゲームを行う。 | |
| 5 ディクテーション | 「かじ」と言って、子どもが「かじ」と言って正しく書ければ○。同様に「みず・かぜ・かぎ・ごはん・めがね」の単語を使ってディクテーション（聞き取り）をする。指導者は、 | ディクテーション用のテスト用紙 |

| | | |
|----------------------|---|--|
| | 子どもが間違えたときは、もう一回聞かせて書けるか確認する。書けない場合は、正解の文字を見て書かせる。 | |
| 6 単語テスト | 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』【P45】を使って、絵を見て、その名前を平仮名で書かせる。 | 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』 (凡人社)【P45】 |
| 7 「わかる／わからない」の表現 | <p>(1) 『日本語学級Ⅰ初期必修の語彙と文字』【P48～49】にある①のイラストを指差し、指導者が「分からない」「分かる」と言って、意味を理解させる。</p> <p>(2) 次に、同じようにイラストの空間の吹き出しを指差し、子どもに「分からない」「分かる」を答えさせる。</p> | 『日本語学級Ⅰ初期必修の語彙と文字』 (凡人社)【P48、49】 |
| 8 平仮名の読み書き(だ行、ば行、ぱ行) | <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』(凡人社)【P46～51】を使用して、今までと同様に行う。</p> <p>※「た」と「だ」の発音の違いはそれほど難しくないが、「は」と「ば・ぱ」の発音は大きく異なるので注意する必要がある。た行だ行を今までと同じように学習した後は、「は」「ば」「ぱ」のみを使って、半濁音を理解させていく。</p> <p>(1) 「は」と「ば」と「ぱ」の3枚のカードだけ使い、「は」を見せながら「は」と言い、「ば」を見せながら「ば」と言い、「ぱ」を見せながら「ぱ」と言う。次に、指導者の後に続いて子どもに言わせる。</p> <p>(2) 「[゜]濁点」「[゜]半濁点」カードを付けて、発音の違いを見せ、聞かせてから言わせる。 ※活動のヒントの写真等を参考にする。</p> <p>(3) 繰り返す。バラバラの順番で言わせる。</p> <p>(4) カルタをする。指導者が「は」と言ったら「は」のカードを取れるようにする。「ば」「ぱ」も同じように行う。</p> <p>(5) 指差したカードを読ませる。</p> <p>(6) 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』の【P46～51】に書いて</p> | <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』 (凡人社)【P46～51】</p> <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』 (凡人社)【P46～51】</p> <p>『50音表』 『ひらがなカード』 (くもん出版) 『ゆびなぞりカード ひらがな』 (くもん出版) 「[゜]濁点」の裏に「[゜]</p> |

10～20分
単活動可

| | | |
|---|--|-----------------------------|
| | 練習をさせる。時間内で終わらないところは、家庭学習とする。 | 半濁点」を書き、裏返すと切り替わるカードを作っておく。 |
| 9 挨拶 | T: 終わりましょう。さようなら。 C: 終わりましょう。さようなら。 | |
| 家庭学習 | | 備考・連絡 |
| だ行、ば行、ぱ行の平仮名のなぞり書きシート 『ひろこさんのためのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』(丸人社)【P46～51】 ※授業時間内で終わらなかったところを家庭学習とする。子どもの実態に合わせる。 | | |

今日の活動・指導のヒント

(1) 「ア わかる／わからない の使い方を覚える」のところでは、パソコンの画像処理ソフトのモザイク処理等を利用することができる。

物の写真にモザイクを掛け、「わかる？わからない？」と聞く。「わからない」と子どもが答えたら、モザイクの度合いを徐々に少なくして、「わかる？わからない？」と聞く。

(2) 「ア わかる／わからない の使い方を覚える」のところでは、物の一部を拡大した写真を見せて「わかる／わからない」と聞くこともできる。

また、パソコンで物の画像を拡大表示しておいて、「わかる／わからない」と聞き、だんだん拡大率を100%に近づけて表示していったり聞くこともできる。

※ここでは、「わかる／わからない」という表現を扱っているが、子どもも指導者も使っているうちに、自然に「わかった！」と言うこともあるが、子どもは使っていく中で「わかる／わかった」の違いを理解していくので、あまり気にしないで使用してよい。



(例) 拡大した鉛筆の写真

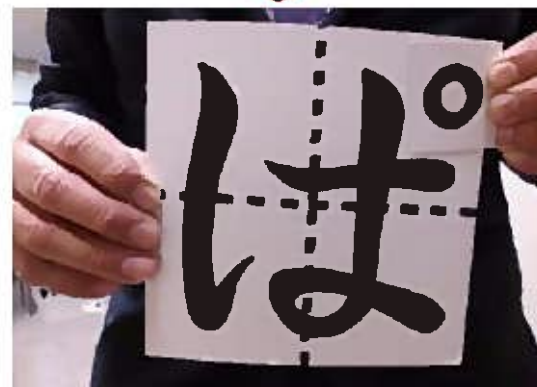


(例) 拡大した椅子の一部

(3) 「8 だ行 ば行 ぱ行の平仮名を覚える」のところでは、特に、「は」「ば」「ぱ」の区別が難しいため、以下のように、初めは、この3枚のカードのみを使用して集中して学習する。

「は」は、口唇を開きさず、「は」と言う。「ば」は口唇を閉じて、「ば」と口唇を破裂させて言う。「ぱ」は、「ば」よりもさらに口唇をしっかりと閉じ、口腔内の空気を外に瞬間的に押し出して「ぱ」と発音する。



※「ば」と「ぱ」の違いは、口の前にある薄い紙に向けて、発音させるとよい。「ば」を発音しても紙は揺れないが、「ぱ」を発音する際は、空気も押し出すため、紙が揺れる。「は」のカードを見せて、「は」と言う。「濁点」を持ってきて、「は」の右上に付けて、「ば」と言う。次に、「濁点」を裏返して「半濁点」にして「ぱ」と言う。






何月何日。
誕生日。

| 学習する内容 | | 日本語表現・語彙・文字表記 |
|---------------------------|--|--|
| ○なんにも？ ○平仮名（濁音半濁音の復習） | | ○何月何日 ○1 H～31 H（何Hで使う数字） ○1月～12月 ○誕生日 |
| 流れ | 活動（発問・文型・語彙等） | 準備物等 |
| 1 挨拶 | おはようございます。 (その子どもの母国語でも挨拶をする。) | |
| 2 曜日の尋ね方と「きのう／きょう／あした」の復習 | (1) 指導者が「きょうは、なんようびですか?」と聞き、子どもに「きょうは、○ようびです。」と答えさせる。 (2) 指導者が「あしたは、なんようびですか?」と聞き、子どもに「あしたは、○ようびです。」と答えさせる。 (3) 指導者が「きのうは、なんようびでしたか?」と聞き、子どもに「きのうは、○ようびでした。」と答えさせる。 | 『日本語学級1初期必修の語彙と文字』（丸人社）【P48、49】 |
| 3 家庭学習の答え合わせ | 家庭学習「だ行ば行ば行の平仮名なぞり書きシート」を見ながら、指書きさせながら一つずつ問わせる。できていれば、家庭学習のシートに○をつける。 | 「50音表」 『ひらがなカード』（くもん出版） |
| 4 平仮名の読み書き（だ行ば行ば行）の復習 | 「だ行ば行ば行」の復習をさせる。 (1) た行とだ行の平仮名カードを読ませ、その平仮名カードに「^」を付けたものを読ませる。交互に読ませ、「だ〜ど」までの復習をさせる。 (2) は行とば行とば行の平仮名カードを読ませ、その平仮名カードに「^」と「^」を付けたものを読ませる。交互に読ませ、「は行ば行ば行」の復習をさせる。 (3) た行とば行とば行の平仮名を書かせ、た行とは行を入れて25枚にし、坊主めくりを行う。 (4) 同じ25枚を使い、25マスビンゴゲームを行う。 | 『ゆびなぞりカード ひらがな』（くもん出版） 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』（丸人社）【P46～51】 平仮名なぞり書きシート |
| 5 ディクテーション | 「まど」と言って、子どもが「まど」と言って正しく書ければ○。同様に「ぶた・へび・えんぴつ・かばん・でんわ」の単語を使ってディクテーション（聞き取り）をする。子どもが間違えたときは、もう一回聞かせて書けるか確認する。書けない場合は、正解の文字を見て書かせる。 | ディクテーション用のテスト用紙 |
| 6 単語テスト | 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』（丸人社）【P51】を使って、絵を見て、その名前を平仮名で書かせる。 | 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・か |

| | | |
|---|---|---|
| | | んじ れんしゅうち ょう』【P51】 |
| 7 「わかる／わか らない」の復習  | 「わかる／わからない」を復習させる。 ※『日本語学級1初期必修の語彙と文字』（月人社）【P48、49】を使ってもよいが、実際の場面を作って復習したい。 〈例〉消しゴムの一部を拡大した写真を見せ、「わかる？ わからない？」と聞き、子どもに答えさせる。 | 『日本語学級1初期必修の語彙と文字』（月人社）【P48、49】 |
| 8 日付の尋ね方  | (1) カレンダーの11日のところを指差し、「11、11日」と指導者が言う。同じように12日から19日まで指導者が言い、その後、子どもに復唱をさせる。 ※これまで、子どもは、1～10と0という数字しか学習していないため、11日から始めている。 ※この段階では、「ついたち」「ふつか」「じゅうよっか」「はつか」といった難易度の高い言い方は教えず、「いちにち」「ににち」「じゅうふんにち」「にじゅうにち」などという言い方でよい。 (2) 続いて「20、20日」と言う。同じように20日から31日まで指導者が言い、その後、子どもに復唱をさせる。 (3) 黒板に「？」を書き、次の質問をして答えさせる。 ① 「きょう、なんようび？」「げつようび？かようび？なんようび？」と聞く。 ② 「きょう、なんにち？」「11 にち？12 にち？ なんにち？」と聞く。 ③ 「あした なんようび？」「すいようび？もくようび？なんようび？」と聞く。 ④ 「あした なんにち？」「13 にち？15 にち？なんにち？」 ⑤ 「きのう なんにち？」 ⑥ 「きのう なんようび？」 ※「なんがつ？」という項目は、使用頻度は高いが、定着が難しいので、「何月何日何曜日」と毎日繰り返して使用できるよう、「なんにち？」と合わせて学習をさせる。 | 『日本語学級1初期必修の語彙と文字』（月人社）【P50】 ※【P51】の時計は扱わない。 |
| 9 月の名称と何月かを尋ねる尋ね | (1) カレンダーの1月～12月までが一覧になっているところを指差し、「1、1月」と言う。同じように2月が | |

| | | |
|--|---|---|
| <p>方</p> <p>20~30分 単活動可</p> | <p>ら12月まで言い、その後、子どもに復唱をさせる。</p> <p>(2) カレンダーの学習している月日を指差し、「今日は、○月○日です。」と言い、子どもに復唱をさせる。</p> <p>(3) 「今日、何月何日？」と指導者が聞く。「今日は、○月○日です。」と答える。</p> | |
| <p>10 誕生日の尋ね方</p> <p>20~30分 単活動可</p> | <p>(1) 「誕生日、何月何日？」と聞く。</p> <p>事前に誕生日を調べておいて、その誕生日を指差しながら、「マルコスの誕生日は、○月○日です。」と言う。</p> <p>※その子どもの母国語で誕生日を何と言うか調べておく。</p> <p>(2) 「私(ぼく)の誕生日は、○月○日です。」と子どもの誕生日について、指導者が言い、子どもに言わせる。</p> <p>(3) 自己紹介カードの誕生日を書く欄(スペース)に誕生日を記入する。子どもが書ける場合は書かせる。</p> <p>(4) 次に指導者は自分を指差しながら、「先生(の)、誕生日は、△月△日です」と言う。子どもにも後に続いて言わせる。「先生の誕生日は、△月△日です。」</p> <p>(5) 子どもに向かって、お父さんお母さんの絵を見せながら、お父さんの絵を指差し、「マルコスのお父さん、誕生日、何月何日？」と聞く。</p> <p>子どもが答えられなかったら、カレンダーで指差ししてもらう。(事前に分かる範囲で調べておく。)</p> <p>(6) 同様にして、お母さんの誕生日を聞き、答えさせる。</p> <p>(7) 在籍学級で一緒に給食を食べる友達に、誕生日を尋ねる表現を教える。</p> <p>友達(ふじやまはなこ)の写真の名前のある「月日」を指差しながら、指導者が「はなこさん、誕生日は、何月何日(ですか)？」と聞く。交流給食の後、この表現を使って友人関係が構築できるようにしていく。</p> <p>※在籍学級の担任教師やその他の教師や学級の友達に、「誕生日は、何月何日(ですか)？」と聞けるようなシートを用意し、いろいろな場面で、誕生日を聞く表現が使えるようにする。(「今日の活動・指導のヒント」参照)</p> <p>(8) 最後に、自己紹介のレポーターを増やし、練習する。</p> <p>指導者が先にモデルを示す。</p> <p>〈例〉</p> <p>T: 先生は、すずきです。サッカーが好きです。先生の誕</p> | <p>※「今日の活動・指導のヒント」参照する。</p> <p>交流給食等で使用する友達の写真と名前カード。</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | <p>生Hは、△月△日です。よろしくお願ひします。</p> <p>T：(子どもに)「マルコスさん、自己紹介です。」(と言ひながら手で促す。)</p> <p>C：ぼくは、マルコスです。サッカーが好きです。誕生日は、□月□日です。よろしくお願ひします。</p> | <p>名前の下に「□月□日」という誕生日が書き込めるスペースを用意しておく。</p> |
| <p>11 平仮名の読み書き(濁音半濁音)の復習</p>  | <p>が行、ざ行、だ行、ば行、ぱ行のカード25文字を使用して復習をさせる。</p> <p>(1) 濁音・半濁音のカード25枚で、坊主めくりを行う。</p> <p>(2) 濁音・半濁音のカード25枚で25マスビンゴゲームを行う。</p> <p>(3) 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』【P43、44、49、50】を使って、なぞり書きを行い、復習をさせる。</p> | <p>が行、ざ行、だ行、ば行、ぱ行の平仮名カード25枚</p> <p>25マスビンゴカード</p> <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』(凡人社)【P43、44、49、50】</p> |
| 12 挨拶 | <p>T：終わりました。さようなら。</p> <p>C：終わりました。さようなら。</p> | |
| 家庭学習 | | 備考・連絡 |
| <p>濁音半濁音の平仮名のなぞり書きシート</p> <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』【P45、51】</p> | | |

今日の活動・指導のヒント

(1) 10「たんじょうびは、なんがつなんにちですか?」で、誕生日の聞き方を学習した後、子どもが必然的に「たんじょうびは、なんがつ なんにちですか?」と尋ねる状況を作る。

下のようなワークシートを持たせ、子どもが友達誕生日を記入できるようにする。

| たんじょうびは、なんがつなんにちですか? | | | | | | |
|----------------------|---------------|--------|---------|----|---------|--|
| なまえ ○ ○ ○ ○ ○ | | | | | | |
| ばんごう | なまえ | たんじょうび | | | | |
| 1 | たなか よしこ せんせい | 10 | がっ 月 | 1 | にち 日 | |
| 2 | かわかみ とおる せんせい | 4 | がっ 月 | 16 | にち 日 | |
| 3 | ふじやま はなこ | 5 | がっ 月 | 12 | にち 日 | |
| 4 | | | | | | |

11日日から、在籍学級で給食を食べ、その後も在籍学級で午後の授業を受けることを想定している。

給食を食べる際には、指導者等と一緒に在籍学級のグループに入り込み、誕生日を聞く補助をすることが大切である。

まずは、「担任の先生のところに行って、今口学習した『たんじょうびは、なんがつなんにちですか?』と聞いてみよう。」と言って、一緒に担任の先生のところに行く。

そこで、「かわかみせんせい、たんじょうびは、なんがつなんにちですか?」と子どもに言わせるように指導する。なかなか言い出せなかったら、まず指導者が言い、繰り返して子どもに言わせる。

先生が「せんせいは、4がつ16にち。4（し）がつ、16（じゅうろく）です。」と答えたら、先生の名前と4と16を書き込むようにする。

次に、一緒に給食を食べる在籍学級のグループの友達に対して、誕生日を聞く。指導者は、同じように補助する。友達が誕生日を答えたら、子どもはこのワークシートに書き込んでいく。在籍学級では、全員の名前を覚えられるよう、一緒に給食を食べるグループをローテーションし変えていく。今まで誕生日を聞いたことがない友達に誕生日を聞く表現を使わせたい。

(2) 「たんじょうびは、なんがつなんにちですか?」シートに、子どもは友達から聞いた誕生日を書き込んでいく。紛失してしまうこともあるので、コピーを一部とっておいて、指導者が保管しておく。

翌日の学習では、子どもに、在籍学級の友達の誕生日を聞く。聞き取った友達の誕生日を、教室内に掲示してある月別カレンダー（12か月分）の日付を囲み、その友達の名前を書き込んでいく。（子どもに書かせてもよい。）※月別カレンダーのシートは、巻末資料を参照する。

また、子どもの自己紹介カードの周りに、在籍学級の友達の自己紹介カードが掲示されているが、その自己紹介カードの名前の下のスペースに、その友達の誕生日を書き込んでいくこともできる。

教室の掲示例 月別カレンダー


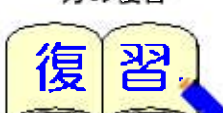
ねん かりんご がつ
_____ 年 の カレンダー 5 月

| にちようび 日曜日 | げつようび 月曜日 | かようび 火曜日 | すいようび 水曜日 | もくようび 木曜日 | さんようび 金曜日 | どようび 土曜日 |
|--------------|--------------|-------------|--------------|------------------------------|--------------|-------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 <small>ふじやまはなこ</small> | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| | | | | | | |

5月12日生まれのふじやまはなこ さん。
5月12日に○を付け、「ふじやまはなこ」と書き込んでいく。



いる。いない。
きて。きって。

| 学習する内容 | | 日本語表現・語彙・文字表記 |
|---|---|--|
| <p>○サバイバル表現 8日目～11 日目までの復習</p> <p>○いる／いない</p> <p>○平仮名の読み書き（促音）</p> | | <p>○いる／いない</p> <p>○フォーク、鉛筆、スプーン、ハサミ、消しゴム、定規、コップ、ラケット、ボール、電卓、カメラ、タオル、三角定規、傘、ひも、眼鏡、コンパス、懐中電灯、ラジカセ、電池</p> <p>※扱う物は、子どもの実態に合わせる。</p> <p>○きて／きって</p> <p>○ほった、きって、きっぷ、しつ照、せつけん、がっき</p> |
| 流れ | 活動（発問・文型・語彙等） | 準備物等 |
| 1 挨拶 | おはようございます。 (その子どもの母国語でも挨拶をする。) | |
| 2 日付の尋ね方の復習  | <p>(1) 「きょうは、なんがつ、なんにち、なんようびですか？」と聞く。</p> <p>(2) 子どもが答えられないようならば、カレンダーを指差しながら、「○がつ、○にち、○ようびです。」と言い、子どもにも言わせる。</p> <p>(3) 黒板に、○がつ○にち○ようびと書き、もう一度、子どもと一緒に言う。</p> <p>(4) 「あしたは、なんがつ、なんにち、なんようびですか？」と聞き、子どもに「あしたは、○がつ○にち○ようびです。」と答えさせる。</p> <p>(5) 「きのうは、なんがつ、なんにち、なんようびでしたか？」と聞き、子どもに「きのうは、○がつ○にち、○ようびでした。」と答えさせる。</p> | カレンダー |
| 3 誕生日の尋ね方の復習  | <p>(1) 「たんじょうびは、なんがつなんにちですか？」と聞き、子どもに「たんじょうびは、○がつ○にちです。」と答えさせる。</p> <p>(2) (自分を指差し)「(わたし) たなかせんせいのたんじょうびは、なんがつなんにちですか？」と聞き、子どもに「たなかせんせいのたんじょうびは、(例) 4がつ 16 にちです。」と答えさせる。</p> <p>(3) 「(担任の) かわかみせんせいのたんじょうびは、なんがつなんにちですか？」と聞き、「かわかみせんせいのたんじょうびは、5がつ 12 にちです。」と答えさせる。</p> | <p>「たんじょうびは、なんがつなんにち？」シート（子ども用）</p> <p>※巻末資料参照</p> <p>月別カレンダー</p> <p>※巻末資料参照</p> <p>友達の自己紹介カード</p> <p>※巻末資料参照</p> |

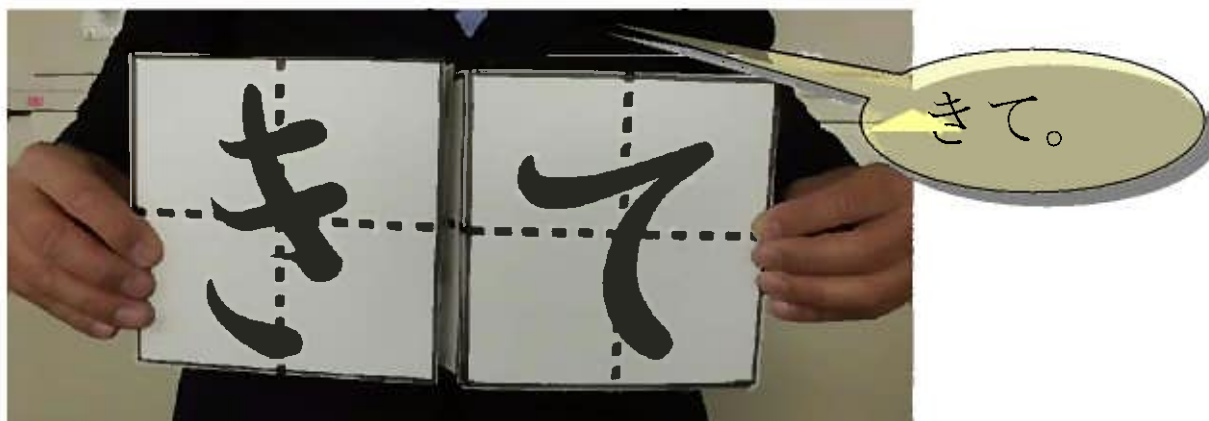
| | | |
|------------------------|--|---|
| | <p>※ 在籍学級の担任教師の誕生日を忘れてしまった場合は、子どもは昨日から使った「たんじょうびは、なんがつなんにちですか？」シートを見て、答えさせてもよい。</p> <p>(4) 子どもが、前日までに在籍学級で友達に尋ねて記録してある誕生日を、子どもに聞く。</p> <p>※「たんじょうびは、なんがつなんにちですか？」シートを見て、調べてある友達の誕生日を聞く。</p> <p>(例)</p> <p>T：(友達の) あじやまはなこさんの、たんじょうびは、なんがつなんにちですか？</p> <p>C：ふじやまはなこさんのたんじょうびは、9がつ12にちです。</p> <p>※子どもに、友達やいろいろな先生の誕生日を尋ね、掲示してある月別カレンダーや友達の自己紹介カードに書き込んでいくことで復習をする。子どもが在籍学級の友達や先生に尋ねて、新たに分かった誕生日についてのみ扱う。</p> | |
| 4 家庭学習の答え合わせ | <p>家庭学習の濁音半濁音の平仮名のなぞり書きシートの答え合わせをする。シートの絵と文字を指差し、一つずつ指書きさせて、正しく書けていれば、指導者が○をつける。</p> | <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちよう』 (凡人社)【P45、51】</p> |
| 5 ディクテーション | <p>指導者が「かぎ」と言って、子どもが「かぎ」と書ければ○。同様に「みず、めかね、ごはん、かじ、かぜ、まど、ぶた、へび、えんぴつ、かばん、でんわ」までディクテーション(聞き取り)をする。指導者は、子どもが間違えたときは、もう一回聞かせて書けるか確認する。書けない場合は、子どもに正解の文字を見て書かせる。</p> | <p>ディクテーション用のテスト用紙</p> |
| 6 単語テスト | <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちよう』【P45、51】を使って、絵を見て、その名前を平仮名で書かせる。</p> | <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちよう』 (凡人社)【P45、51】</p> |
| 7 サバイバル表現 8日目～11日目までの復 | <p>以下の項目を、『日本語学級I初期必修の語彙と文字』等を使い、復習をさせる。</p> <p>・こう／ちがう／そう ・べんきょう</p> | <p>『日本語学級I初期必修の語彙と文字』 (凡人社)の該当項目</p> |

| | | |
|--|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ・なんようび ・なんじ? ・なんにち? ※なんがつ?を含む。 ・きのう/きょう/あした ・わかる/わからない。 | <p>を使う。</p> |
| <p>8 診断テスト (第1章 第11～20課テスト)</p> | <p>付属の診断テストを使って確認テストを行う。 ※4と5の学習していないところは省略する。</p> | <p>『日本語学級1 初期必修の語彙と文字』 (丸人社) 第1章 第11～20課テスト</p> |
| <p>9 「いる／いない」の表現</p> <div style="background-color: gray; width: 100px; height: 80px; margin-top: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; transform: rotate(-90deg); font-weight: bold;">10～20分 単活動可</div> </div> | <p>(1) 『日本語学級1』のP20～21 までのイラストの【必要な道具】の方を指差して「いる」と言い、【不必要な道具】の方を指差して「いない」と言う。</p> <p>(2) 同じように、今度は、指差して「いる／いない」を言わせる。</p> <p>(3) 『日本語学級1』のP22～23 までのイラストの吹き出し部分を指差して「いる? いない?」と聞き、子どもに答えさせる。◎以降は、何も言わず、先生が指差すことで発言を促し、答えさせる。</p> | <p>『日本語学級1 初期必修の語彙と文字』 (丸人社)【P20～23】 ※用意できるならば実物を準備する。 フォーク、鉛筆、スプーン、ハサミ、消しゴム、定規、コップ、ラケット、ボール、電卓、カメラ、タオル、三角定規、傘、ひも、眼鏡、コンパス、ラジコンカー、懐中電灯、ラジカセ、電池 など。</p> |
| <p>10 平仮名の読み書き(促音)</p> <div style="background-color: gray; width: 100px; height: 80px; margin-top: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; transform: rotate(-90deg); font-weight: bold;">10～20分 単活動可</div> </div> | <p>アオーディオンカードを使う。 ※今日の活動・指導のヒントを参照する。</p> <p>(1) 指導者が、「きて」と書かれたカードを見せて、「きて」と言う。子どもにも言わせる。</p> <p>(2) 指導者が「きて」のカードを両方に引っ張ると「きって」のカードになる。その動作の後、「きって」と言う。子どもにも言わせる。</p> <p>(3) 指導者が「きて」と言い、カードを引っ張って「きって」と言う。これを繰り返して、小さい「っ」が入ると、促音の発音になることを理解させていく。「きて」と「きって」の発音の違いに気付かせる。</p> <p>(4) 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちよう』(丸人社)【P52～54】</p> | <p>「50音表」を掲示する。</p> <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちよう』 (丸人社)【P52～54】 平仮名なぞり書きシート ※『日本語学級1 初期必修の語彙と文字』 (丸人社)【P155】の</p> |

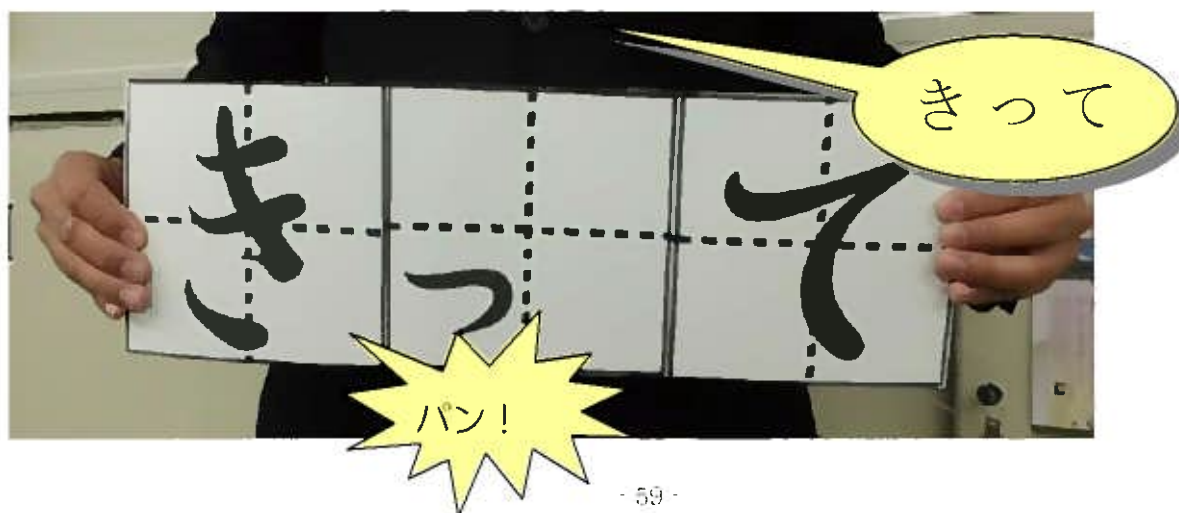
| | | |
|--|--|--------------|
| | を使い、「ほった、きって、きっぷ、しっぱ、せっけん、がっき」の練習をさせる。 | 促音を扱うこともできる。 |
| 11 挨拶 | T : 終わりましょう。さようなら。 C : 終わりましょう。さようなら。 | |
| 家庭学習 | | 備考・連絡 |
| 促音の平仮名のなぞり書きシート 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅう うちょう』(丸人社) 【P52～54】 | | |

今日の活動・指導のヒント

- (1) 「5 いる/いない」のところでは、ある活動を行う際に、いる物なのかいない物なのか、具体的な状況を設定して行うと効果がある。
- (2) 「9 促音の平仮名を覚える。」のところでは、次のようなアコーディオンカードを使用する。
※「ねこ(猫)」と「ねっこ(ねっこ)」を扱ってもよい。



アコーディオンカードを前に突き出して、「パン」と音をさせるとよい。



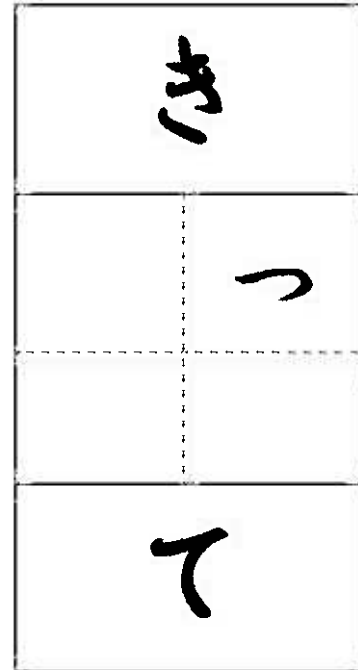
(3) 促音を書くときの位置は、縦書きでは、1マスを4分割した右上に書く。横書きでは、1マスを4分割した左下に書く。

小学校1年生の「書写」の教科書では、4つのスペースをそれぞれ1の部屋、2の部屋、3の部屋、4の部屋と呼び、縦書きでは「3の部屋」、横書きでは「2の部屋」に書くように、と記載されているものもある。書写の教科書を参照するとよい。

| | |
|---|---|
| 1 | 3 |
| 2 | 4 |





横書きでは、「2」の部屋に書きます。




縦書きでは、「3」の部屋に書きます。



だれの？ どこ？
はれ、くもり、あめ

| 学習する内容 | | 日本語表現・語彙・文字表記 |
|---|---|---|
| ○これ だれの？ ○ここ／どこ／あそこ ○平仮名の読み・書き（長音） | | ○これ だれの？ ○ここ／どこ／あそこ ○てんき はれ くもり あめ ○おじいさん おばあさん おとうさん おかあさん おにいさん おねえさん おとうと いもうと せんぶうき れいぞうこ ぞう さとう ひこうき せんせい がっこう せいと とけい ぼうし |
| 流れ | 活動（発問・文型・語彙等） | 準備物等 |
| 1 挨拶 | おはようございます。 (その子どもの母国語でも挨拶をする。) | |
| 2 日付の尋ね方の復習  | (1) 「きょうは、なんがつ、なんにち、なんようびですか？」と聞く。 (2) 子どもが答えられないようならば、カレンダーを指差しながら、「○がつ、○にち、○ようびです。」と言い、子どもにも言わせる。 (3) 黒板に、「○がつ○にち○ようび」と書き、子どもと一緒に言う。 (4) 「あしたは、なんがつ、なんにち、なんようびですか？」と聞き、子どもに「あしたは、○がつ○にち○ようびです。」と答えさせる。 (5) 「きのうは、なんがつ、なんにち、なんようびでしたか？」と聞き、子どもに「きのうは、○がつ○にち、○ようびでした。」と答えさせる。 | 月別カレンダー ※巻末資料参照 |
| 3 誕生日の尋ね方の復習  | (1) 「たんじょうびは、なんがつなんにちですか？」と聞き、子どもに「たんじょうびは、○がつ○にちです。」と答えさせる。 (2) (自分を指差し)「(わたし) たなかせんせいのたんじょうびは、なんがつなんにちですか？」と聞き、子どもに「たなかせんせいのたんじょうびは、○がつ○にちです。」と答えさせる。 (3) 「かわかみせんせいのたんじょうびは、なんがつなんにちですか？」と聞き、子どもに「かわかみせんせいのたんじょうびは、5がつ12にちです。」と答えさせる。 | 「たんじょうびは、なんがつなんにち？」シート（子ども用） ※巻末資料参照 月別カレンダー ※巻末資料参照 友達の自己紹介カード ※巻末資料参照 |

| | | |
|---|---|---|
| | <p>※子どもが担任教師の誕生日を忘れてしまった場合は、昨日から使っている「たんじょうびは、なんがつなんにちですか？」シートを見て、答えさせてよい。</p> <p>(4) 指導者は、子どもが、前日までに在籍学級で友達に尋ねて記録してある誕生日を、子どもに聞く。</p> <p>※「たんじょうびは、なんがつなんにちですか？」シートを見て、調べてある友達の誕生日を聞く。</p> <p>(例)</p> <p>T: △△△さんの、たんじょうびは、なんがつなんにちですか？</p> <p>C: △△△さんのたんじょうびは、○がつ○にちです。</p> <p>※指導者が子どもに、友達やいろいろな先生の誕生日を尋ね、掲示してある月別カレンダーや友達の自己紹介カードに書き込んでいくことで復習をさせる。友達や先生に尋ねて、新たに分かった誕生日についてのみ扱う。</p> | <p>『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』</p> |
| <p>4 家庭学習の答え合わせ</p> | <p>家庭学習「促音のひらがなのなぞり書きシート」の答え合わせをする。指導者がシートの絵と文字を指差し、子どもに一つずつ指書きさせて、正しく書けていれば○をつける。</p> | <p>(凡人社)【P52～54】 「ほった、きって、きつぷ、しっぱ、せっけん、がっき」</p> |
| <p>5 ディクテーション</p> | <p>「ほった」と言って、子どもが「ほった」と言って正しく書ければ○。同様に「きって、きつぷ、しっぱ、せっけん、がっき」までディクテーション(聞き取り)を行う。間違えたときは、もう一回聞かせて書けるか確認する。書けない場合は、文字を見て書かせる。</p> | <p>ディクテーション用のテスト用紙</p> |
| <p>6 単語テスト</p> | <p>家庭学習の(『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』【P54】)を使って、絵を見て、その名前を平仮名で書かせる。</p> | |
| <p>7 「いる／いない」の復習</p> <p></p> | <p>「いる／いない」の復習をさせる。</p> <p>※実際の場面を使って練習をさせる。</p> <p>(例)</p> <p>机の上が水で濡れている。指導者が雑巾(またはティッシュ)を見せて、「これは雑巾です。いる？いない？」と聞く。子どもは「いる。」と答える。</p> | <p>『日本語学級1 初期必修の語彙と文字』(凡人社)【P20～23】</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <p>8 「これ だれの？」の表現</p> <p>10~20分 単活動可</p> | <p>『日本語学級Ⅰ初期必修の語彙と文字』【P54~57】を使う。</p> <p>(1) イラストを指差しながら、④で「これ」、⑤で「だれの」、⑥で「わたし(ぼく)の」と言い、子どもに言わせる。</p> <p>(2) 次に、指導者が、【P54】の下の「これ」という吹き出しを指差しながら「これ」、「？」を指差しながら「だれの?」、絵を指差しながら「わたし(ぼく)の」と言う。子どもにも後に続いて言わせる。</p> <p>(3) 子どもの教科書や本を取り上げ、指導者がその本を指差しながら、「これ だれの?」と聞く。子どもに「わたし(ぼく)」と言わせる。</p> <p>(4) 【P55】の②の吹き出しに「これ」「だれの」「わたし(ぼく)」というように言葉を入れて読み聞かせる。①から④まで読み聞かせた後、それぞれ、吹き出しを指導者が指差して、子どもに言わせる。</p> <p>(5) 【P56】③のイラストを使って「あれ」の意味を教える。①のイラストを指差し「これ だれの?」、②のイラストを指差し「わたし(ぼく)」、③のお母さんのイラストを指差し「あれ だれの?」と言って、最後に「わたし(ぼく)」を指差し「わたし(ぼく)」と言う。子どもにも同じように言わせていく。</p> <p>(6) 【P56】の④のイラストを使用する。指導者が鉛筆を指差し「鉛筆」と言い、子どもが「これ」と答えるような練習をさせる。</p> <p>※「それ」と答える場面にならないように注意する。「それ」に該当する言葉を持たない言語があるなど、「それ」は意外と難しい概念なので、この段階ではまだ教えない。</p> <p>(7) 遠くにある辞書を指差し「辞書」と言い、子どもが「あれ」と答えるようにさせる。</p> <p>(8) 【P57】の⑤のイラストを指差しながら、吹き出しに当てはまる言葉を子どもに言わせる。</p> | <p>『日本語学級Ⅰ初期必修の語彙と文字』(凡人社)【P54~57】</p> |
| <p>9 「ここ/どこ/あそこ」の表現</p> <p>10~20分 単活動可</p> | <p>『日本語学級Ⅰ』【P58、59】の①のイラスト①から④を使って「ここ」「どこ」「あそこ」を教える。</p> <p>(1) 初めは、指導者が吹き出しに当てはまる言葉を全て言う。</p> | <p>『日本語学級Ⅰ初期必修の語彙と文字』(凡人社)【P58~59】</p> |

| | | |
|------------------------------|---|---|
| | <p>(2) 次に、子どもに言わせる。分からないときは、指導者が言い、続けて子どもに言わせるようにする。 『ともだちになろう』【P23】や『にはんごをまなぼう』【P36、37】のイラストを子どもに見せながら、実際に校内巡りをして、「ここ」「どこ」「あそこ」を教える。</p> <p>(3) 指導者が「ここは、きょうしつです。」と言い、続けて子どもに言わせる。</p> <p>(4) 指導者が運動場のイラストを指差ししながら、「うんどうじょうは、どこですか？」と聞く。子どもは絵を見て運動場を理解し、「うんどうじょうは、あそこです。」と教室の外の運動場を指して答える。子どもが言えなければ、「うんどうじょうは、あそこです。」と指導者が言い、続けて子どもに言わせる。</p> <p>(5) 指導者が図書室のイラストを指差しながら、「としょしつは、どこですか？」と聞く。子どもと一緒に学校内の図書室まで一緒に行って、「としょしつは、ここです。」と言い、続けて子どもに言わせる。</p> <p>※『ともだちになろう』や『にはんごをまなぼう』を使いながら、校内巡りをして、「ここ」「どこ」「あそこ」を実際に使って覚えさせていく。</p> | <p>『ともだちになろう』 (静岡市教育委員会) 【P23】</p> <p>『にはんごをまなぼう』 (文部省)【P36～37】</p> |
| <p>10 天気表現「はれ／くもり／あめ／ゆき」</p> | <p>『にはんごをまなぼう』の【P9】を使う。</p> <p>(1) 指導者が、はれのイラストを指差しながら、「てんき。きょうのてんきは はれです。」と言い、子どもにも言わせる。同様に、「てんき。きょうのてんきは くもりです。」 「てんき。きょうのてんきは あめです。」と言い、子どもにも言わせる。</p> <p>(2) 指導者が、外の天気を指差し。例として、晴天ならばはれのイラストを見せて、「てんき。きょうのてんきは、はれです。」と言い、子どもにも言わせる。</p> <p>(3) 黒板の「○がっ○にち○ようび」の下に、てんき はれ」と追加して書き込む。</p> | <p>『にはんごをまなぼう』(文部省)【P9】</p> |
| <p>11 平仮名の読み書き(長音)</p> | <p>アコーディオンカードを使う。 ※今日の活動・指導のヒントを参照する。</p> <p>(1) 指導者が、「おじさん」と書かれたカードを見せて、「お</p> | <p>「50音表」 『ひらがなカード』 (くもん出版)</p> |

10～20分
単活動可

10~20分
単活動可

じさん」と言う。子どもにも言わせる。

(2) 指導者が「おじさん」のカードを向方に引っ張ると「おじいさん」のカードになる。その動作と同時に、「おじいさん」と長く伸ばす音を強調して言う。子どもにも言わせる。

(3) 同様に「おばさん」のアコーディオンカードを引っ張って広げると「おばあさん」となる。その動作と同時に「おばあさん」と長く伸ばす音を強調して言う。子どもにも言わせる。

(4) 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』（丸人社）【P55~60】を使い、長音を読む練習をさせた後、書く練習をさせる。「おじいさん、おばあさん、おとうさん、おかあさん、おにいさん、おねえさん、おとうと、いもうと、せんぶうき、れいぞうこ、ぞう、さとう、ひこうき、せんせい、がっこう、せいと、とけい、ぼうし」

(5) 手遊び歌「ひげじいさん」を使って、長音「じいさん」を定着させる。

♪ トントントントン ひげじいさん
トントントントン こぶじいさん
トントントントン てんぐさん
トントントントン めがねさん
トントントントン 手はうえに
キラキラキラキラ 手はおひざ

※振り付けを付けながら、楽しく歌う。『手はおひざ』の部分は、『手はあたま』『手はおしり』などに変えることで、いろいろ楽しめる。

『ゆびなぞりカード ひらがな』
(くもん出版)

『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』
(丸人社)【P55~60】

平仮名なぞり書きシート

手遊び歌「ひげじいさん」のイラスト

12 挨拶

T: 終わりました。さようなら。
C: 終わりました。さようなら。

家庭学習

備考・連絡

長音の平仮名のなぞり書きシート

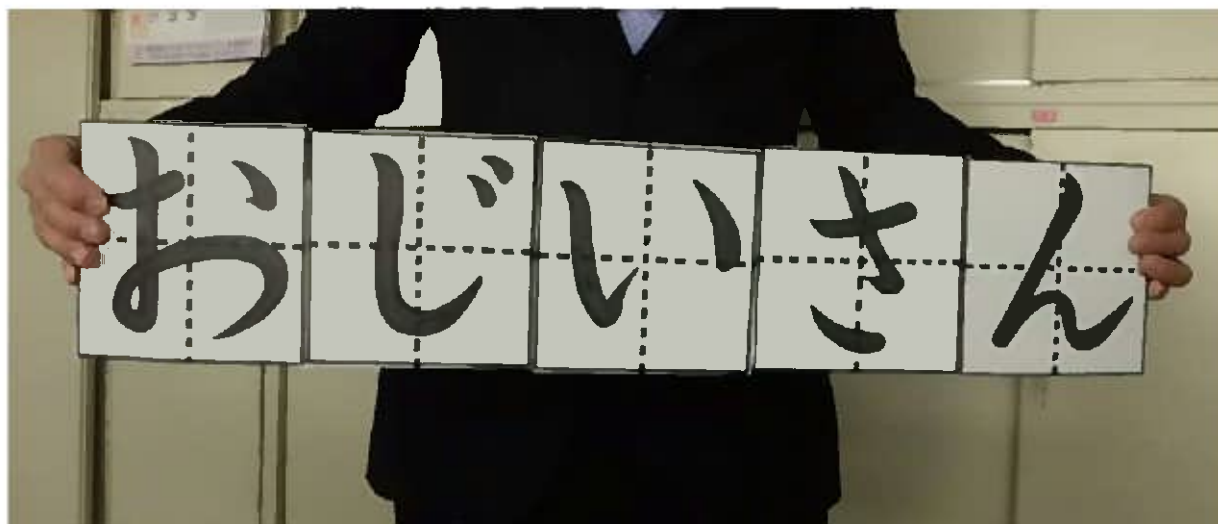
『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちょう』（丸人社）【P55~60】

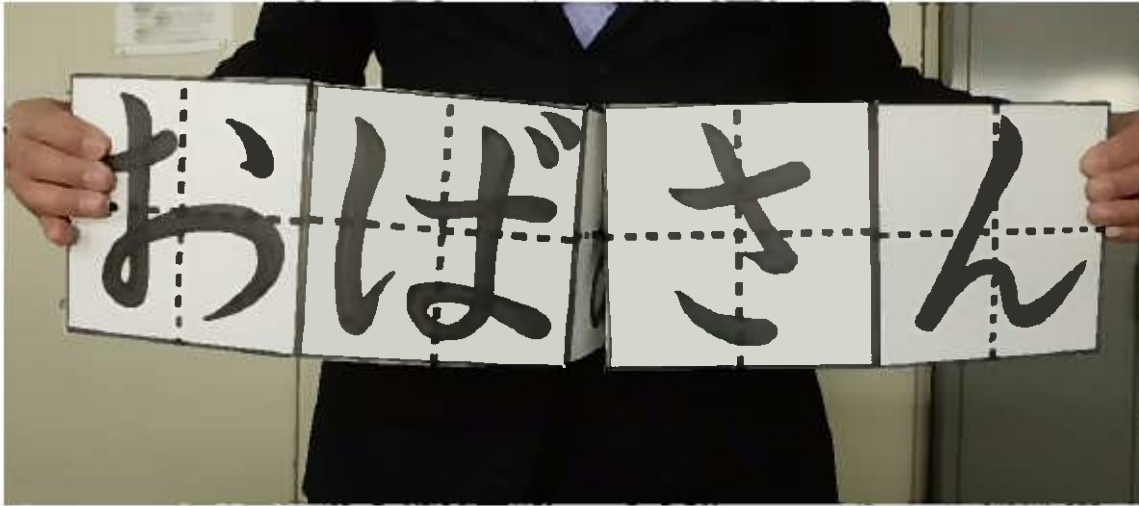
今日の活動・指導のヒント

(1) 「11 平仮名の長音の読み書きを覚える」では、以下のようなアコーディオンカードを使用して指導する。

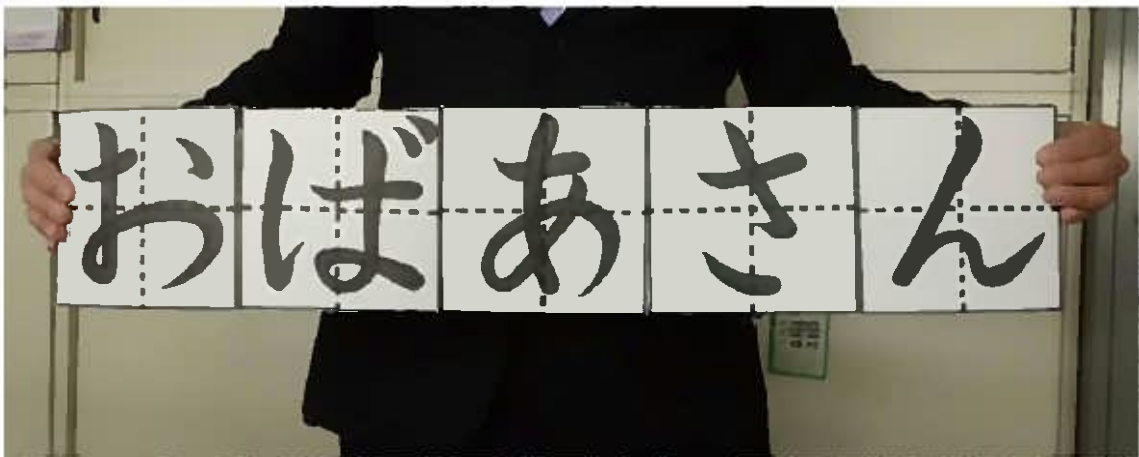


横に長く伸ばすように提示する。「おじ(い)————さん」とオーバーな言い方をする。
(促音「きって」は突き出すように提示した。差異を付ける。)





同様に、横に長く伸ばすように提示する。「おば（あ）——さん」とオーバーな言い方をする。



(2) 静岡県総合教育センターホームページ「あすなる学習室」の「国語のへや」がエンドになる。
アドレス <http://gakusyu.shizuoka-c.ed.jp>

のぼすおと ヒント



ながくのぼすおとは、つぎのようにならわします。

- 1 「あ」の れつの おとを のぼす ときは、「あ」を つける。
おかあさん おばあさん
- 2 「い」の れつの おとを のぼす ときは、「い」を つける。
おじいさん おにいさん しいたけ
- 3 「う」の れつの おとを のぼす ときは、「う」を つける。
ふうせん くうき ゆうやけ
- 4 「え」の れつの おとを のぼす ときは、「え」を つける。
おねえさん
- 5 「お」の れつの おとを のぼす ときは、「う」を つける。
おとうさん ぼうし こうえん

「え」と「お」の れつの おとは、とくべつな かきかたを する ことが あります。
とけい えいが きれい おおかみ こおり おおきい





みぎ ひだり
まえ うしろ

| 学習する内容 | | 日本語表現・語彙・文字表記 |
|---|---|--|
| ○みぎ／ひだり／まんなか ○うえ／した ○平仮名の読み・書き（拗音 きゃきょ きよ きゃぎょ） | | ○みぎ／ひだり／まんなか ○め みみ くち はな て あし ○みぎめ ひだりめ みぎみみ ひだりみみ 等 ○うえ／した ○まえ／うしろ ○きゃ きょ きよ きゃ きょ きよ ○きゅうり にんぎょう ばんきょう きゅうにく |
| 流れ | 活動（発問・文型・語彙等） | 準備物等 |
| 1 挨拶 | おはようございます。 （その子どもの母国語でも挨拶をする。） | |
| 2 日付と天気の見方の復習  | (1) 「きょうは、なんがつ、なんにち、なんようびですか？」 「きょうのてんきは、なんですか？」と聞く。 (2) 子どもが答えられないようならば、カレンダーを指差しながら、「きょうは、○がつ、○にち、○ようびです。」と言い、子どもにも言わせる。 (3) 黒板に「○がつ○にち○ようび」と書き、もう一度、子どもと一緒に言う。 (4) 「きょうのてんきは、なんですか？」と聞く。子どもに「きょうのてんきは、(例) はれです。」と答えさせる。 (5) 黒板に「てんき (例) はれ」と書き、子どもと一緒に言う。 (6) もう一度、最後に「きょうは、○がつ○にち○ようびです。きょうのてんきは、(例) はれです。」と指導者が言い、子どもと一緒に言う。 | |
| 3 誕生日の見方の復習  | 「たんじょうびは、なんがつなんにち？」シートを使う。 指導者が子どもに、友達やいろいろな先生の誕生日を尋ね、掲示してある月別カレンダーや友達の自己紹介カードに書き込んでいくことで復習をさせる。 ※友達や先生に尋ねて、新たに分かった誕生日についてのみ扱う。 | 「たんじょうびは、なんがつなんにち？」シート（子ども用） |
| 4 家庭学習の答え合わせ | 長音の平仮名なぞり書きシートの絵と文字を指差し、つずつ指書きさせて、正しく書けていれば○をつける。 「おじいさん、おばあさん、おとうさん、おかあさん、おにいさん、おねえさん、おとうと、いもうと、せんぶうき、 | 『ひろこさんのたのしいほんご』1 ひらがな・かたかな・かんに れんしゅうち |

| | | |
|--------------------------|--|--|
| | れいぞうこ、ぞう、さとう、ひこうき、せんせい、がっこう、せいと、とけい、ぼうし | よう』(凡人社) 【P55~60】 |
| 5 ディクテーション | 「おじいさん」と言っ、子どもが「おじいさん」と言っ、て正しく書ければ○。同様に「おばあさん」から「ぼうし」までディクテーション(聞き取り)をする。子どもが間違えたときは、もう一回聞かせて書けるか確認する。書けない場合は、正解の文字を見て書かせる。 ※子どもの実態に応じて、「おじさん」と「おじいさん」等を混在させてもよい。 | ディクテーション用のテスト用紙 |
| 6 単語テスト | 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんじゅうちよう』【P57, 60】のシートを使って、単語テストを行う。 「おじいさん、おばあさん、おとうさん、おかあさん、おにいさん、おねえさん、おとうと、いもうと、せんぷうき、れいぞうこ、ぞう、さとう、ひこうき、せんせい、がっこう、せいと、とけい、ぼうし」 | 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんじゅうちよう』【P57, 60】 |
| 7 「これだれの?」「ここ/どこ/あそこ」の復習 | (1)「これ だれの?」を復習させる。 ※実際の場面を使って復習させる。 (例1) T: (腕時計を外し、腕時計を指差して、) これ、だれの? C: せんせいの。 (例2) T: (子どものカバンを指差して、) これ、だれの? C: わたしの(ぼくの)。 (2)「ここ/どこ/あそこ」を復習させる。 ※実際の場面を使って復習させる。 (例) T: トイレ、どこ? C: (トイレの方を指差し、) あそこ。 | 『日本語学級1初期必修の語彙と文字』(凡人社)【P54~57】 『日本語学級1初期必修の語彙と文字』(凡人社)【P58~59】 |
| 8 「みぎ/ひだり/まんなか」の表現 | 『日本語学級1初期必修の語彙と文字』【P60~61】を使って、「みぎ/ひだり/まんなか」の使い方を覚えさせる。 「め みみ くち はな て あし みぎめ ひだりめ みぎみみ ひだりみみ 等」の単語を学習させる。 | 『日本語学級1初期必修の語彙と文字』(凡人社)【P60~61】 紙コップ3個、サイコロ1個 |

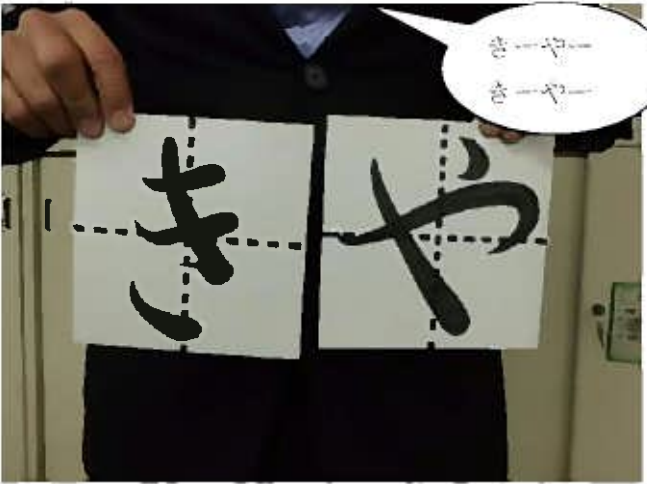



| | | |
|---|--|---|
| <p>9 「うえ／した」の表現</p> | <p>『日本語学級1初期必修の語彙と文字』の【P63】の①のイラストを使って、「みぎ／ひだり」の復習をさせた後、「うえ／した」を教える。</p> | <p>『日本語学級1初期必修の語彙と文字』（凡人社）【P62～63】</p> |
| <p>10 「みぎ／ひだり／うえ／した」の復習</p>  | <p>視力検査表を使って「みぎ／ひだり／うえ／した」を使う練習をさせる。</p> <p>(1) ㉠の記号を指差し、指で方向を指しながら「みぎ」と言わせる。</p> <p>(2) 次に、指した記号について、「みぎ」「ひだり」「うえ」「した」等答えさせる。</p> <p>※視力検査表には、平仮名を読ませる部分があるので、平仮名を読む練習にもなる。</p> <p>『にほんごをまなぼう』『3 きいてみましょう』【P14】にある「まえ／うしろ／うえ／した／ひだり／みぎ」のイラストを使い、「まえ／うしろ」についても学習させる。</p> | <p>視力検査表 (保健室から借りておく。または、保健室に行きに行く。)</p> <p>『にほんごをまなぼう』(文部省)「3 きいてみましょう」【P14】にある「まえ／うしろ／うえ／した／ひだり／みぎ」のイラスト</p> |
| <p>11 平仮名の読み書き(拗音 きゃきゅきよぎゃぎゅぎよ)</p>  | <p>(1) ㉠と㉡が書かれたカードを見せながら、指導者が初めはゆっくり「きーやーきーや」と言い、徐々にスピードを上げ、㉢のカードを裏返して㉣のカードに変え、㉠ ㉢の組み合わせにして「きゃ」と短く切って言ってみせる。子どもも指導者と同じように初めはゆっくり言い、徐々にスピードを上げ、最後に㉤を㉣にしたら「きゃ」と言う。</p> <p>(2) 「きや」と「きゃ」の発音の違いを理解したら、縦書きと横書きの「きゃ」というカードを見せて、書きの練習を行う。</p> <p>(3) 同様に、「きゅ きよ ゑゃ ゑゅ ゑよ」を練習させる。</p> <p>(4) 指導者の発音を聞き、目の前のカードを並べて、聞き取った音をカードで再現するゲームを行う。</p> <p>※子どもの机の上に、㉠ ㉢ ㉣ ㉤のカードを用意しておく。指導者が「きゃ」と言ったら、子どもは㉠と㉢を選び、言わせてから並べる。同様に、㉠ ㉢ ㉣ ㉤も行う。</p> <p>(5) 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちよう』(凡人社) 【P61、62】に出てくる単語「きゅうり、にんぎょう、べんきょう、きゅうにく」を練習させる。</p> | <p>㉠、㉡の裏に㉢、㉣の裏に㉣、㉤の裏に㉣、㉥の裏に㉤と書いたカード 「50音表」</p> <p>平仮名なぞり書きシート 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅうちよう』 (凡人社)【P61～62】 小学校1年書字の教科書(拗音の縦書きと横書きの表記方法が記載されている。) ※「今日の活動・指導のヒント」を参照</p> |

| | | |
|---|--------------------------------------|--------------|
| 12 挨拶 | T: 終わりました。さようなら。 C: 終わりました。さようなら。 | |
| 家庭学習 | | 備考・連絡 |
| 拗音 きゃ きゅ きょ ぎゃ ぎゅ ぎょ の平仮名のなぞり書きシート 『ひろこさんのたのしいにほんご1 ひらがな・かたかな・かんじ れんしゅう ちょう』 【P61、62】「きゅうり、にんぎょう、べんきょう、ぎゅうにく」 | | |

今日の活動・指導のヒント

(1) 「11 平仮名の拗音（か行が行）を覚える。」のところで、「きゃ」と「きゃ」の違いを以下のように指導する。[き]と[や]が書かれたカードを見せながら、初めはゆっくり「きーやーきーやー」と言い、徐々にスピードを上げ、[や]のカードを裏返して[ゃ]のカードに変え、[き][ゃ]の組み合わせにして「きゃ」と短く切って言ってみせる。子どもも同じように初めはゆっくり言い、徐々にスピードを上げ、最後に[や]を[ゃ]にしたら「きゃ」と言うようにする。

| | |
|--|--|
|  |  |
| <p>① [き]と[や]が書かれたカードを見せながら、指導者が初めはゆっくり「きーやーきーやー」と言い、だんだんスピードを上げて言う。</p> | <p>② [や]のカードを裏返して[ゃ]のカードに変え、[き][ゃ]の組み合わせにして「きゃ」と短く切って言ってみせる。子どもも指導者と同じように初めはゆっくり言い、スピードを上げ、最後に[や]を[ゃ]にしたら「きゃ」と言うようにする。</p> |

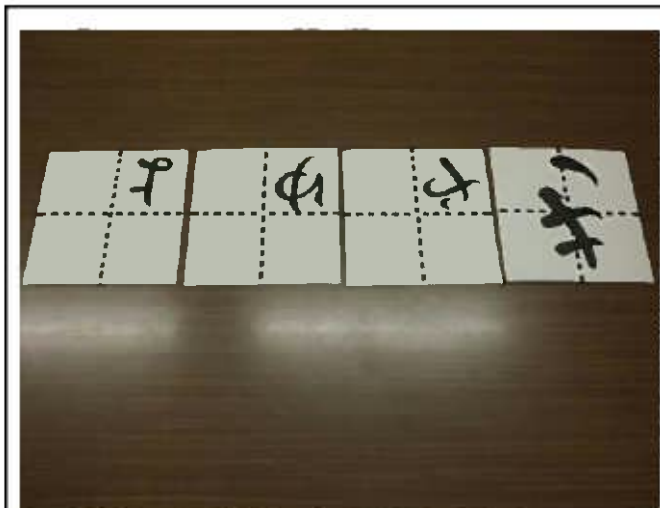
(2) 「11 平仮名の拗音（か行が行）を覚える。」のところで、「きゃ」と「きゃ」の発音の違いを理解したら、縦書きと横書きの「きゃ」というカードを見せて、書きの練習を行う。



(3) 「11 平仮名の拗音（か行が行）を覚える。」のところで、「きゃ」「きゅ」「きょ」の音の違いが判別できるかどうかを、以下のように指導する。

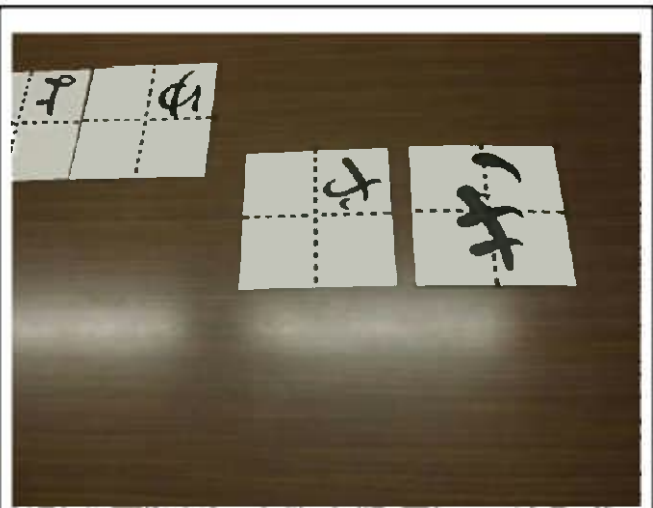
指導者の発音を聞き、口の前のカードを並べて、聞き取った音をカードで再現するゲームを行う。

※子どもの机の上に、**き** **や** **ゆ** **よ**のカードを用意しておき、指導者が「きゃ」と言ったら、子どもは**き**と**や**を選び、並べる。同様に、**ぎ** **や** **ゆ** **よ**も行う。



① 机の上に、「き」「や」「ゆ」「よ」の4枚のカードを並べておく。

② 指導者は「きゃ」「きゅ」「きょ」のどれかを発音する。



③ 子どもは、指導者の発音を「きゃ」と認識したら、「や」「ゆ」「よ」のうち、「や」を選び、カードで「きゃ」を作る。

① 子どもが、カードで「きゃ」を作ることができたら、ほめる。できなかった場合は、もう一度、指導者は「きゃ」と発音して、やり直す。